

都市研究プラザ 特別研究員（若手）（頭脳循環）募集要項（平成 22 年 11 月募集分）

大阪市立大学都市研究プラザ（URP）では、アーツマネジメント分野の若手研究者の自発的かつ国際水準の研究活動を支援することを目的として、「URP 特別研究員（若手）（頭脳循環）」（以下、「頭脳循環特別枠」と記す。）を下記の要領で募集します。

URP 特別研究員（若手）は、研究活動のスタイルについて 2 類型（コース）を設けています。A グローバルコースは、受入研究者の概括的な指導の下、国際会議での研究発表やフィールドワークなどの研究活動を行うコースです。B マイスターコースは、受入研究者が主宰する研究プロジェクトと密接に関連した独自研究プロジェクトを遂行するコースです。別表に示す「研究テーマ，受入研究者となることが可能な研究者」をご参照いただき、積極的な応募をお願いいたします。

なお、頭脳循環特別枠においては、都市研究プラザが定めた派遣計画（「アジア・アーツマネジメント研究機構確立のための若手研究者派遣・育成プログラム」（以下、「派遣プログラム」と記す。)) に基づく在外活動（バンコクまたはジョグ・ジャカルタにおいて通算で 1 年間程度以上）を必須とします。当該在外活動を考慮した研究計画の提案を求めます。

1. 募集区分・待遇・人員

2 つの【活動類型】（A グローバルコース，B マイスターコース）のそれぞれに 4 つの【課程・学位水準】（1～4）を設けて、計 8 区分で募集します。

研究計画等（研究経費申請を含む）に基づいた選考により採択されると、URP 特別研究員として任用され、研究計画に則った予算を利用した研究活動が実施できます。また、学位水準や他機関からのフェローシップ等の受給状況に応じて、研究員給料が支給されます。ただし、同種研究費、同種給料の重複給付は行いませんので、旅費の執行が認められない場合や、給料が支給出来ない場合もあります。

なお、下表における「研究活動費」は、「派遣プログラム」の基幹部分に関わる経費以外の、自主的な研究活動に要する経費を指します。基幹部分に関わる経費は、渡航費用・滞在費ならびに国際共同研究支援活動費を、プログラム主担当研究者が別途措置します。

グローバルコース	A-1	DC (a) : DC1～DC3 年次	研究活動費（旅費主体；Max 100 万円／年）	4 人
	A-2	DC (b) : DC4～DC6 年次	研究活動費（旅費主体；Max 50 万円／年）	
	A-3	PD	博士研究員給料（時間給）および研究活動費（旅費主体；Max 100 万円／年）	
	A-4	PhD Candidate	研究員給料（時間給）および研究活動費（旅費主体；Max 100 万円／年）	
マイスターコース	B-1	DC (a) : DC1～DC3 年次	研究活動費（Max 100 万円／年）	
	B-2	DC (b) : DC4～DC6 年次	研究活動費（Max 50 万円／年）	
	B-3	PD	博士研究員給料（時間給）および研究活動費（Max 100 万円／年）	
	B-4	PhD Candidate	研究員給料（時間給）および研究活動費（Max 100 万円／年）	

【参考】 公立大学法人大阪市立大学給与規定に定める時間給（H22 年 11 月現在）
 博士研究員 1,924 円／時間
 研究員 C（概括指導のもとに行う相当高度な研究） 1,600 円／時間

【注意事項】

- URP 特別研究員は、1 年あたり 1 回以上、ワークショップまたはセミナーにおいて研究発表をしていただきます。
- 研究計画は複数年度に亘ることが可能ですが、研究活動費予算は会計年度毎に審査・決定します。また、研究活動結果報告書（中間報告書）および決算報告書を、会計年度毎に提出していただきます。
- 研究活動費は、大阪市立大学の経費支出基準により設備備品費、消耗品費、旅費等として執行します。申請研究活動の経費負担を保証するものではありません。

2. 応募資格

下記(1)～(4)のいずれかの区分に該当し、大阪市立大学G-COE「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」拠点に所属する研究者を「受入研究者」* とすることができる者であって、URP特別研究員として在籍する期間において研究を本務とできる者（他機関における職務専念義務の制約がない者）。

* 応募にあたっては、別表に示す「受入研究者となることが可能な研究者」と事前に綿密な連絡を取ってください。

さらに、本件募集（頭脳循環特別枠）においては、「派遣プログラム」によるバンコクまたはジョグ・ジャカルタでの約1年間の在外活動（アジア・アーツマネジメント研究機構確立のための国際共同研究支援活動；在外活動始期は平成23年1月または平成23年度上期）を、自身の研究計画に組み込むことを必須条件とする。「派遣プログラム」には年齢要件が課されているため、在外活動始期が属する年度の4月1日時点で満45歳以下の者のみを受け付ける。

なお、応募時点において既に「G-COE 特別研究員（若手）」の身分を有する者の本件募集への応募も可とする。既に身分を有する者が本件募集で採用された場合には、本件身分（頭脳循環特別枠）以外の「特別研究員（若手）」身分は廃する。

	平成22年10月時点の学位・身分	応募可能な募集区分と申請できる研究期間	
(1)	後期博士課程（博士課程）在籍	A-1, B-1	H23年1月から最長2年3カ月 （ただしDC3年次まで）
		A-2, B-2	H23年1月から最長1年3カ月
(2)	後期博士課程（博士課程）退学	A-4, B-4	
(3)	後期博士課程（博士課程）修了	A-3, B-3	H23年1月から最長2年3カ月
(4)	博士（論文）		

3. 選考方法

「申請書」（下記4. (1)）の書類審査（1次審査）および口頭試問（2次審査）により、URP特別研究員選考委員会が審査します。

口頭試問は、平成22年12月8日（水）に、大阪市立大学・都市研究プラザ（大阪市住吉区杉本3-3-138）において実施します（詳細は該当者に別途通知します）。

4. 応募手続き

- (1) 出願書類：特別研究員（若手）（頭脳循環）申請書（平成22年11月募集分）×1部
- (2) 募集期間：平成22年11月18日（木）～平成22年11月30日（火）17:00 必着
- (3) 送付先（郵送または持参のみ受付）：下記【問い合わせ・出願書類送付先】参照

5. 選考結果の通知

- 1次審査（書類審査）：12月2日（木）に、 可否を郵便にて通知（発送）します。
- 2次審査（口頭試問）：12月9日（木）に、 採否を郵便にて通知（発送）します。

6. 今後の募集予定

頭脳循環特別枠の次回募集（2名）を平成23年8月以降に予定しています。

なお、追加募集を平成23年2月に実施する場合があります（webにて広報します）。

【問い合わせ・出願書類送付先】

〒558-8585
 大阪市住吉区杉本 3-3-138
 大阪市立大学都市研究プラザ URP 特別研究員担当
 TEL 06-6605-2071 FAX 06-6605-2069
 office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

【別表】G-COE「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」研究テーマ、受入研究者の候補者

テーマ	研究テーマ	受入研究者となることが可能な研究者（○：ユニット長）
都市論	<p>◆ユニットテーマ:創造都市論をベースに都市固有の文化的背景とガバナンスのあり方を歴史的に俯瞰し、創造的都市空間の形成を考察する</p> <p>◆研究分野:都市経済学、都市政策学、都市社会史、空間形成史、比較都市史、地域史、アジア都市論、建築史学</p> <p>◆キーワード:創造都市、文化産業、創造産業クラスター、縮小都市、中心市街地活性化、郊外ニュータウン、都心居住、環境容量、ガバナンス、伝統都市、都城、中世都市、近代都市、都市法、社会的結合、中心と周縁、歴史系博物館、保存と活用、歴史まちづくり</p> <p>◆研究プロジェクト</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)創造都市と創造的文化産業に関する国際比較研究 (2)創造的縮小都市政策に関する比較研究 (3)巨大都市大阪の形成と変容に関する研究 (4)大阪を軸とした比較都市史研究 (5)歴史資産を活かしたまちづくりに関する研究 <p>◆メッセージ:グローバルで、しかも歴史的な視野から比較研究を積み重ね、先端的都市論の構築に挑戦する意欲溢れる人材を募集します。</p>	<p>○佐々木雅幸 (創造都市研究科)</p> <p>矢作 弘 (創造都市研究科)</p> <p>谷 直樹 (生活科学研究科)</p> <p>塚田 孝 (文学研究科)</p> <p>仁木 宏 (文学研究科)</p> <p>藤田 忍 (生活科学研究科)</p> <p>瀬田 史彦 (創造都市研究科)</p>
文化創造	<p>◆ユニットテーマ:アート・デザインを媒介とした都市空間の再構築とコミュニティの多様性の保証、活性化</p> <p>◆研究分野:文化政策、都市計画、アートマネジメント、都市文化、文化経済</p> <p>◆キーワード:アート、歴史的空間、タウン・マネジメント、インクルーシブ社会、コミュニティ、多様性、マイノリティ、共生、文化資源、演劇、サウンドスケープ、コミュニティリズム</p> <p>◆研究プロジェクト</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)現代社会におけるアートのアクセシビリティ・マイノリティに向き合う社会の構築に向けて (2)アジアの歴史的都市空間の再生とコミュニティの多様性の保証 (3)文化創造型タウン・マネジメント組織と空間形成に関する研究 (4)大学によるアート拠点運営、演劇教育を通じての、コミュニティ再生 <p>◆メッセージ:都市空間のなかに飛び込み、アート・デザインによる都市の再創造を熱く語り、果敢に行動する人材を求めています。</p>	<p>○中川 眞 (文学研究科)</p> <p>嘉名光市 (工学研究科)</p> <p>宮本 佳明 (都市研究プラザ・工学研究科)</p> <p>平田オリザ (大阪大学)</p> <p>橋爪 紳也 (大阪府立大学・大阪市立大学)</p>
社会包摂	<p>◆ユニットテーマ:ホームレス、マイノリティ、住宅困窮層、あるいは社会的条件不利地域の居住支援を通じた社会的包摂実現に向けての実践</p> <p>◆研究分野:地理学、社会学、住居学、都市計画</p> <p>◆キーワード:ホームレス、マイノリティ、エスニシティ、ジェンダー、社会的排除と包摂、高齢者・障害者、社会保障、格差、貧困、剥奪、居住支援、NPO、都市住宅問題、居住政策、地域住居計画、居住地計画、まちづくり、社会的な不利地域の再生、居住福祉、認知症、空間デザイン</p> <p>◆研究プロジェクト</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)排除から包摂をめざしたホームレス・ハウジングケアの就労、福祉、居住支援システムの構築 (2)東アジア大都市の資本制文化と人間-民族関係と外国人労働者— (3)地域住宅ストックを活用した住宅困窮者支援方策に関する研究 (4)高齢者の空間特性とまちづくりに関する研究 <p>◆メッセージ:分断・格差社会の根源をえぐり排除から包摂の仕組みづくりの実践と学知の再創造に真摯に取り組む人材を募集します！</p>	<p>○水内俊雄 (都市研究プラザ・文学研究科)</p> <p>谷 富夫 (文学研究科)</p> <p>檜谷美恵子 (京都府立大学)</p> <p>全 泓奎 (都市研究プラザ)</p> <p>三浦 研 (生活科学研究科)</p>
国際プロモーション	<p>本ユニットの 5 名は、グローバルコースのみを受け入れます。</p> <p>◆研究分野:国際戦略会計論、都市産業論、空間情報学GIS、国際政治地理、都市交通計画</p>	<p>○岡野 浩 (経営学研究科)</p> <p>長尾謙吉 (経済学研究科)</p> <p>森 洋久 (国際日本文化研究センター)</p> <p>山崎孝史 (文学研究科)</p> <p>内田 敬 (工学研究科)</p>

プロジェクトや受入研究員についての詳細情報は、<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp> をご覧ください。